

☆ 広川町近郊では . . .

県立の特別支援学校が設置されています

障害の種類に応じて専門性の高い教育を行う学校です。幼稚園から高等学校に相当する年齢段階の教育を、幼稚部・小学部・中学部・高等部で行います（設置学部は、学校によって異なります）。また、教育に関する相談にも応じています。（広川町近郊の特別支援学校については、裏面参照）

○専門性の高いスタッフ・充実した施設

子ども一人一人の障害に配慮した施設環境の中で、専門性の高い教員が少人数の学級で指導しています。

○一人一人に応じた指導

小学校・中学校などに順ずる教育を行うとともに、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服するための「自立活動」を実施していきます。

○就学・進学などのサポート

卒業後の職業的な自立を促進するため、障害の状態などに応じた多様な職業教育や進路指導を行い、就職・進学などを最大限にサポートしていきます。

通級指導教室が設置されています

ここでは、発達障害に応じた支援を行っております。発達障害とは自閉症・アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、注意欠陥性多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）など、脳機能に何らかの障害があり、そのことによって行動や認知発達の遅れ、偏りといった症状が低年齢のうちから現れてくるものを指します。

近隣では、八女市の学校に設置されており、広川町の小学校に在籍しながら通級して支援・指導を受けることが出来ます。また、筑後市には「ことばの通級指導教室」があり、ことばの発音や発達についての支援を行います。

○注意欠陥性多動性障害（ADHD）

注意力や衝動性、多動性などが年齢や発達に不釣合いで、社会的な活動や学業に支障をきたすことがある

○学習障害（LD）

知的な遅れはないが、聞く・話す・読む・書く・計算するなどの能力のうち、特定の分野に極端に苦手な側面が見受けられる

○自閉症・広汎性発達障害

自閉症の特徴としては「対人関係や社会性の障害」「コミュニケーションの障害」「興味や関心の狭さ」があるといわれている。自閉症の中で、知的発達の遅れがないものを高機能自閉症と言う。知的発達の遅れ、言葉の遅れは見られず対人関係以外ではある程度の適応能力を持っているのがアスペルガー症候群であり、それ以外のレット症候群なども含めて広汎性発達障害と言う。

内容についてのお問い合わせは、広川町教育委員会まで

お気軽にご相談ください。